

歯科衛生士概論(含医療倫理)

講 師	井 手 祥 二 小 林 泰 子	実施時期 単 位 数	第 1 学年前・後期 2 単位 (30 時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科衛生業務を實踐して人びとの健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する。				
授 業 概 要	健康づくりをサポートする歯科衛生業務を有効に展開するために必要な態度・取り組みと専門知識の技能の全体像を学ぶ。 医療従事者として医療倫理、生命倫理、またインフォームドコンセントやQOLについて理解する。				
学 習 方 法	講義・DVD視聴・グループディスカッション				
成績評価の方法	定期試験の結果を中心とし、小テストや授業への参加状況等を考慮し、総合的に評価する。 (小テスト30% 定期試験70%)				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 (監) 最新「歯科衛生学総論」 医歯薬出版 全国歯科衛生士教育協議会 (監) 最新「歯科医療倫理」第2版 医歯薬出版				
履修上の注意	歯科衛生士教育の入門科目である。適宜グループワークを行い、専門職の自覚をもって医療従事者としてどうあるべきかを考えてもらう。自主的な学習態度・学習過程を重視する。				
参 考 書	授業中に適宜指示する。				

授業計画

[1～9：小林泰子、 10～15：井手祥二]

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	歯科衛生学とは	①歯科衛生学の定義を述べることができる。 ②歯科衛生士と健康のかかわりを説明できる
2	歯科衛生士の歴史・現況	①歯科の歴史について概要を説明できる。 ②歯科衛生士の誕生について概要を説明できる。
3	歯科衛生業務	①歯科衛生業務について説明できる。
4	歯科衛生業務の實踐におけるコミュニケーション	①歯科衛生業務の實踐におけるコミュニケーション力の必要性を説明できる。 ②歯科診療室での接遇・応対について考察する。
5	歯科衛生過程	①歯科衛生過程の考え方を説明できる。 ②歯科衛生過程のプロセス、構成要素を説明できる。
6	歯科衛生業務の進め方	①歯科衛生業務を實踐するための判断力と技術の必要性について説明できる。
7	歯科衛生士法	①歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について説明できる。 ②歯科衛生士の法的義務について説明できる。
8	医療安全管理と秘密保持義務	①医療安全管理の必要性について説明できる。 ②秘密保持義務の法的責任について説明できる。
9	チーム医療・多職種との連携	①チーム医療を概説できる。 ②多職種との連携の意義を説明できる。
10	医療従事者としての心構え	人命の尊重と患者への献身という基本的義務について説明できる。
11	医療倫理に関する規範、演習	医療倫理の歴史経過と規範を概説できる。グループワークを取り入れて、能動的な言動ができる。
12	バイオエシックス(生命倫理)について	生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
13	インフォームドコンセント、演習	インフォームドコンセントにおける患者と保健医療者双方の権利と義務を説明できる。グループワークを取り入れて、能動的な言動ができる。
14	研究と医療倫理	臨床、研究、情報に関する倫理的問題を説明できる。
15	QOL(quality of life: 生活の質)	歯科衛生士としてのQOLとの関わり方と向上について説明できる。